

平成22年度 八戸市公共事業再評価シート

No.

評価対象事務事業名	館鼻公園整備事業	担当部署(電話)
		都市整備部 公園緑地課 公園整備グループ(内線344)

再評価実施要件	<input type="checkbox"/> 事業採択後	<input checked="" type="checkbox"/> 5年経過	<input type="checkbox"/> 未着工	(その他)		➡	八戸市公共事業再評価実施要綱第3条第1項(3)
	<input checked="" type="checkbox"/> 再評価実施後	<input type="checkbox"/> 10年経過	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中				

1 事業の概要

総合計画の 施策の体系	分野	5.安全・安心なまちづくり
	大施策	5-4.居住環境の整備
	中施策	(1)快適でうるおいのある市街地の形成
	小施策	④公園・緑地の整備
	事業	都市公園整備事業(三八城公園および館鼻公園の整備)

事業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫補助事業
	<input type="checkbox"/> 県補助事業
	<input type="checkbox"/> 市単独事業
財源負担	<input checked="" type="checkbox"/> 国 50 %
	<input type="checkbox"/> 県 %
	<input checked="" type="checkbox"/> 市 50 %

採択年度	平成 8年度	(用地着手 平成 8年度)	(工事着手 平成13年度)
終了年度	平成23年度	平成20年 3月工期変更	(変更前の終了年度 平成20年度)

目的	当該公園は、湊村との合併により市に引き継がれた面積5,700m ² の土地に、主に児童の利用を目的としてS39に開設され、長い間地域住民の憩いの場として利用されてきた。その一方で八戸港が一望できる見晴らしの良さから、海が見える丘の公園として多くの人々から知られるところとなり、H8に老朽化による再整備を機に観光地としての利用も視野に入れた公園として整備を進めている。 展望塔「グレットタワーみなと」はH19.4のオープン以降、市の新たな観光スポットとして多数の市民や観光客が訪れていることから、来園者の便利をさらに図っていくために、区域を拡張し大型観光バス対応の駐車場を整備して来たところである。 今後については、隣接する旧八戸測候所の無人化(H19.10)に伴い、その跡地や建物を活用した休憩所の設置や、地域コミュニティーの場、また海に関する資料館等の整備を進める予定である。	内容	施設の内容 ha							
			ゾーン名	主な施設	計画面積	供用面積	ゾーン名	主な施設	計画面積	供用面積
	日和山広場	展望塔、駐車場、記念碑、トイレ	0.32	0.32	プレイロット	パーゴラ、遊戯施設(滑り台他7基)	0.06	0.06		
	桜の杜広場	見晴台、四阿、ベンチ	0.45	0.45	上の自由広場	ベンチ、広場	0.13	0.13		
	たてはなの丘	漁夫のとりで、月見のデッキ	0.15	0.15	下の自由広場	ベンチ、軽運動器具(7基)	0.06	0.06		
	夕日のテラス	3連パーゴラ、縁台	0.06	0.06	川辺の広場	水辺のデッキ、駐車場	0.46	0.46		
	西のスポット	シェルター、ベンチ	0.05	0.05	憩いの広場	休憩所	0.04	0.00		
	南のスポット	シェルター、ベンチ	0.02	0.02	計		1.80	1.76		

事業費	○ 当初計画時総事業費 <u>703</u> 百万円				○ 再々評価時総事業費 <u>912</u> 百万円				(単位:百万円)	
		8~19年度	20年度	21年度	22年度	小 計	23年度~	合 計		
	当初計画 (うち用地費) 【H8年12月採択】	703 (267)	()	()	()	① 703 ② (267)	()	703 (267)		
	計 画 (うち用地費) 【H20年3月変更】	638 (206)	80 (60)	70 (0)	36 (6)	824 (272)	62 (0)	886 (272)	⑤	⑥
実 績 (うち用地費)	638 (206)	77 (51)	150 (0)	0 (0)	③ 865 ④ (257)	47 (6)	912 (263)			

2 評価

(1) 事業の進捗に関する視点 A

進捗状況		計画全体に対する進捗	当初年次計画に対する進捗	《説明》 ○平成24年度迄を事業期間としていたが前倒して事業を進めた事もあり、事業進捗率は約98%に達している。 ○今年度は旧八戸測候所跡地の用地取得に向けた事務調整を行い、平成23年度に休憩所の整備をし一年早めて事業完了する予定である。
	事業費割合	97.63 % 【③/⑤】	123.04 % 【③/①】	
	(うち用地費)	(94.49 %) 【④/⑥】	(96.25 %) 【④/②】	

(2) 事業の必要性等に関する視点 A

必要性	<p>○当市の一人当たり公園面積は、平成20年度末時点9.70m²と県内平均15.66m²と比較し低い水準であることや、「八戸市緑の基本計画」が平成35年度を目標とする一人当たり公園面積16.0m²の実現において、当公園の整備は必要不可欠である。</p> <p>○平成16年3月に策定の「八戸市都市計画マスタープラン」では、都市拠点となる陸奥湊駅周辺の市場を巡る散策ルートの一つとなっており、海の見える優れた眺望点を活かした公園づくりを進めるものとされている。</p> <p>○平成18年に策定された「湊地区まちづくり事業基本計画」では、「館鼻公園整備」や「新井田川河口への憩いの空間整備」等の各プロジェクトを関連付けた地域一帯のまちづくりを目指している。</p> <p>○展望塔オープン後の館鼻公園は、市の新たな観光スポットとして主要な観光ルートにも組み込まれるなど、観光面への効果は大きく、今後予定する休憩所の整備や、海に関する資料館等、立地特性を活かしたさらなる施設の充実は、観光客のみならず多数の市民からも望まれている。</p> <p>○八戸市地域防災計画に災害時の一時避難地として指定されており防災公園としての役割が求められている。</p>	市民等の声	<p>○地元町内会関係者で組織された「館鼻公園整備拡充促進期成同盟会」から、毎年整備進捗状況等について説明を求められており、早期完成及び施設の拡充について強く要望されている。</p> <p>○平成21年8月に隣接する旧八戸測候所の跡地や建物を活用した公園整備について、「湊地区連合町内会」「地区再生まちづくり促進協議会」の連名で約5千人の署名を添えて要望書が提出されている。</p>
------------	--	--------------	---

(3) 事業の投資効果に関する視点 B

		(単位:百万円)			
区分	主な項目	再評価時	再々評価時	増減	
費用対効果分析	費用項目 ①	① 施設費	365.0	764.0	399.0
		② 用地費	217.0	332.0	115.0
		③ 維持管理費	74.0	239.0	165.0
		④			0.0
		⑤			0.0
	総費用	656.0	1,335.0	679.0	
②	便益項目 ①	① 利用価値	1,937.0	1,176.0	△ 761.0
		② 環境価値	1,640.0	1,569.0	△ 71.0
		③ 防災価値	3,414.0	2,394.0	△ 1,020.0
		④			0.0
		⑤			0.0
	総便益	6,991.0	5,139.0	△ 1,852.0	
	B/C	10.66	3.85		

《説明》

➢ 費用対効果分析手法

○改訂第1版 小規模公園費用対効果分析手法マニュアル(平成19年6月 社団法人 日本公園緑地協会編集・発行、国土交通省都市・地域整備局公園緑地課監修)に基づく

➢ 特記事項

○費用対効果分析マニュアルがH19.6に改訂されたため前回B/C数値とは比較できない。(アンケート調査等を踏まえ実態に即した評価手法に改良されている。)

(4) 事業のコスト削減等に関する視点 A

コスト削減	<p>○現況の地形や樹木を極力活かした公園づくり。</p> <p>○土留めなど既存施設の再利用。</p> <p>○岩盤掘削で発生した岩石の一部を景観材料として活用している。</p>
代替案	<p>○老朽化に伴う再整備であり、立地条件を活かした公園整備を進めているため、代替案はない。</p>

(5) 市民ニーズの視点 A

把握方法・内容	<p>○平成16年3月に「八戸市緑の基本計画」の策定にあたり実施した市民アンケートでは、地域で取り組んで欲しいこととして、「自然散策や憩いの場となる緑地をつくる」が最も多い。</p> <p>○平成19年に「新井田川河口部憩いの空間整備」検討委員会及びワークショップにおいて、展望塔のライトアップや、水辺の雰囲気を楽しめる魅力的な公園づくりが必要だとの意見が出されている。</p> <p>○平成21年に「旧八戸測候所」の跡地や建物を活用した公園整備の要望について、地元住民約5千人の署名があった。</p>
----------------	---

(6) 環境影響への視点 A

配慮手法	<p>項目数9項目(該当実施数8項目)</p> <p>× 建築設計段階で省資源、省エネルギーを推進 ○ 建築設計段階で新エネルギー、雨水利用システム等の導入(ソーラーによる防災照明灯の設置)</p> <p>○ 建築設計段階で環境負荷削減(現況地形、樹木の利用) ○ 施設の緑化(公園樹木の植栽) ○ 再生資材を使用(再生As、砕石の利用)</p> <p>○ 建設機械、工事車輛には低騒音、低振動、低排出ガスの機械を使用(特記仕様書による義務付け)</p> <p>○ 建設副産物のリサイクル推進(As、コンクリート殻のリサイクル工場への搬出)</p> <p>○ 農薬や化学肥料の使用量削減(必要最小限の使用) ○ 廃棄物の分別処分(マニフェストによる確認)</p>
-------------	---

3 対応方針(案)

総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 中止
理由	<p>館鼻公園は地域住民が利用する公園としてだけでなく、海が一望できる優れた地形特性を活かした「みなと八戸」のシンボルとなるものであり、また災害時における避難場所としての重要な役割も担っている。</p> <p>展望塔オープン後の館鼻公園は、市の新たな観光スポットとして主要な観光ルートにも組み込まれるなど、観光面への効果は大きく、今後予定する休憩所の整備や、海に関する資料館等、立地特性を活かしたさらなる施設の充実、観光客のみならず多数の市民からも望まれている。よって事業継続としたい。</p>		

4 行政改革委員会意見

総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 中止
付帯意見・理由等	<p>今後の整備・運営にあたっては、利用実態の把握に努め、観光面では、既存施設との重複を避けるとともに、全体的な観光ネットワークでの効果的活用方法を検討すること。</p> <p>一方、地域の住民が利用する公園でもあるため、「観光」と「地域協働」の両面から最適な運営体制を検討すること。</p> <p>また、防災公園としての機能強化にあたっては、関係部署の連携を密に進めること。</p>		

5 対応方針(決定)

総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 中止
理由	<p>委員会の意見を踏まえ、アンケート調査の実施や地域との関わり、また、観光ネットワークにおける既存施設との調整や、防災面での機能強化など、それぞれの関連部署とも密に連携を図りながら、最も効果的な公園の整備、運営に努める。</p>		